

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 5月 29日

事業所名 放課後等デイサービス ぱれっと

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6				
	2 職員の配置数は適切である	5	1			人員配置や加算条件を満たす配置になっている。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	1		トイレに手すりをつけ段差を軽減できるようにしている	トイレに段差があるが手すりを付けて転ばないように対応している。段差のみならず、危険になりうる箇所が無いか改めて確認し、改善に努めていく。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6				
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6				
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5			運営会社ホームページ・事業所で利用している情報ページにて結果を公表している	外への周知だけでなく、事業所内での共有もしっかりと取り組む。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6				
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6				
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6				
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6				
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	6				
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6				
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6			日々のミーティングや話し合いで共通の目標をもって取り組み各職員からの意見を反映させている。集団活動の設定や、個々の状況に応じて適宜個別活動も取り入れ、療育支援を工夫している。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6				
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6				
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6				
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6				

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6				
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	6				
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6				
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5	1			現在、該当者がいないが必要に応じて主治医からの指示書等や緊急連絡時の対応について確認していく。 対応児に応じて、情報共有を行っていく
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	1			現在、対象者がいない。 対応児に応じて、情報共有を行っていく
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	-	-	-		現在、対象者がいない。 対応者に応じて、情報共有を行っていく
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	4			現在、動画や外部研修も受講して研修機会を増やしている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	2			地域の児童センターの利用回数を増やしている。土曜日や長期休み期間にしか行くことができないため、全児童が交流する機会をなるべくつくる。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	6				
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6				
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6				
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1		5		次年度から保護者を交えて交流する機会を予定している。親子レク(7月と2月)
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6				

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	35	個人情報に十分注意している	6			個人情報に係る書類等は鍵付きのキャビネットに保管している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		2	4		地域との関わり方を検討しながら、活動計画に反映させる。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6				
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6				
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6			虐待防止に関する外部の研修や社内研修を実施している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6				現在、対象児童がいないが、身体拘束に関しては、利用者本人の生命や身体を保護するため緊急を要する場合に、切迫性・非代替性・一時性があることを条件に行うことを職員の共通認識とし、行った場合は記録に残すこと、保護者にはそれらを契約書に記載・説明し身体拘束について組織的に決定し、個別支援計画に記載する体制を行っている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6				現在、対象児童がいない。今後該当児童がいた場合は医師の指示書をもとに職員間で共有する。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6			都度、報告書を作成し共有している。	事例があった場合、事業所内ミーティングや本社も交えて合同研修にて確認・共有を行っている。